

高橋 美博 議員

広島平和祈念式典に

参加しての決意は

問 市長は今年初めて公式に参加したが、その感想と平和への決意はどうか。

答 核兵器廃絶と世界平和の実現に向け、世界の人々が団結し、勇気を持って行動すべきとの思いを強くした。市でも、市民一人ひとりが平和について考える機会をつくる取り組みを継続していきたい。

問 磐田市では「広島平和祈念式典 中学生派遣事業」を平成22年から実施し成果を上げている。本市でも中学生を式典へ派遣ができないか。

答 子どもたちに原爆の恐ろしさを直接感じてもらうことは意義がある。生徒自身が平和の尊さを学び、平和のためにできることを考える貴重な体験となる。課題もあるため教育委員会と話し合い検討していきたい。



平和祈念の折り鶴作り

生活困窮世帯の子どもたちに学習支援を

問 貧困の連鎖を断ち切る対策として、各地の自治体が中学生などを対象に無償の学習支援教室を開き、成果を上げている。本市も検討を。

答 県のモデル事業の実績を参考に、制度の活用やNPO法人が実施している協働まちづくり事業との連携の可能性など、支援方法を検討したい。

鈴木 弘睦 議員

災害時避難対策等の

実効性向上を

問 自主防災組織の機能向上のために新たに備える点は。

答 訓練へ直接参加していない方々に対する積極的な呼び掛けや、安否確認訓練、あるいは、自主防災台帳の整備・促進など、地域防災力の強化につながる活動を継続していきたい。

農業委員会改革はどうか

問 国の規制改革における農業改革案についてどう考えるか。

答 地域の農業を振興するためには、地域の実情を把握している農業委員の存在は大きい。今後は、地域が推薦する地元の農業者や団体の推薦により選出されるような方法が適当であると考えている。

シニア世代の

生きがいづくりを

問 シニアクラブの活動内容と課題は。

答 シニアクラブへの若年層の加入促進が大きな課題のため、ホームページ開設や、旅行などの趣味クラブを立ち上げて、会員以外の方も自由に参加できるように取り組みを試みている。



シニアクラブのグラウンドゴルフ大会